

鯖江市教育委員会

12月定例会議事録

令和2年12月22日（火）

1 会議概要

- 日 時 令和2年12月22日(火) 午後2時55分開会
午後4時48分閉会
- 場 所 鯖江市役所4階第2委員会室
- 出席委員
辻川 教育長
笹本 教育長職務代理者 蓑輪 委員
中村 委員 柴田 委員
- 欠席委員
なし
- 出席説明員
福岡 事務部長 木村 教育審議官
高島 教育政策課長 齋藤 生涯学習・スポーツ課長
西山 文化の館副館長 前田 文化課長兼まなべの館館長
田中 子育て支援課保育・幼児教育室長 瀬野 生涯学習・スポーツ課主幹
- 欠席説明員
品川 健康福祉部長
- 書記
木原 教育政策課参事
- 議事日程
(1) 開会の宣告 午後2時55分開会
(2) 会議録署名人の指名 柴田 委員 中村 委員
(3) 報告事項
(4) 議案
議案第49号 鯖江市子ども読書活動推進会議委員の委嘱について
可決
(5) 教育長の報告
(6) その他
 - ① 各課主要事業進捗状況および課題について
 - ② 「ふるさと鯖江の日」教育文化功労等表彰式について
 - ③ 令和2年度卒業証書授与式について
 - ④ 成人式について
 - ⑤ 次回開催予定等について1月定例教育委員会開催予定
日 時 1月12日(火) 午後3時
場 所 鯖江市役所 4階第2委員会室

(7) 閉会の宣告 午後4時48分閉会

2 会議大要

(1) 報告事項

なし

(2) 議案審議

議案第49号 鯖江市子ども読書活動推進会議委員の委嘱について

<教育長>

議案第49号「鯖江市子ども読書活動推進会議委員の委嘱について」は人事案件となっているので、教育委員会会議規則第15条ただし書きの規定により秘密会としたい。異議はないか。

(異議なしの声)

<教育長>

異議なしと認め、議案第49号は秘密会とする。

(3) 教育長の報告

成人式について

文化センターの指定管理について

(4) その他

① 各課主要事業進捗状況および課題について

【質疑】

<委員>

令和2年度は、コロナ禍により令和元年度のような対応がとれなかったと思うが、令和3年度は新型コロナウイルスが終息しないことも踏まえ、AIやICTなどを取り入れることを常態化していくとよいのではないか。

<教育審議官>

中学校の職場体験は現場に出向き活動しないと難しい。今年度、小学校の産業体験学習については、それぞれの事業所でDVDを作成してもらったり、講師として学校に来てもらったりして、学校で指導いただきながら産業体験を進めることが出来た。今後、このような形の体験学習もよいと思ったので、目的に合う形で見直し等を進めていきたい。

<生涯学習・スポーツ課長>

公民館の事業は人と人の顔を突き合わせてというところもあり、本来のあるべき姿を見

極めながら事業に適した形で出来るかどうか検討していきたい。

<文化課長>

「ふるさとさばえ検定」や「近松講座」はWeb受験や動画配信等でご覧いただくことは可能である。「まなべDEわくわくアートフェスタ」は、子どもが手を動かして作品をつくるという趣旨であり、「企画展」については展示物をご覧いただくという趣旨であるので工夫が必要になってくる。

<委員>

子ども達が出向いて体験する事業や講師に来てもらう事業がどうしても縮小してしまう。「アーツクルーズ」は非常によい事業であるので廃止するのは非常に残念である。

<文化課長>

「アーツクルーズ」が廃止になった経緯は新型コロナの影響ではなく、十数年継続して実施してきているので一旦リセットした。新たにプロのアーティストの方を招いての事業を企画中である。

<委員>

子どもの自殺やいじめの相談事業は市がスクールカウンセラーを配置し非常に力を入れている。コロナ禍の中、引きこもったり、ストレスを抱えたりしているので、それを緩和してあげられるような取組みとして掲載すればよいのではないか。目に見える形にしておくことは大事である。

<教育審議官>

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置事業については、他の市町より手厚く実施しているのでのせていきたい検討したい。

<委員>

情報モラルの推進について、保護者と連携しながら各学校で実施されているが具体的にどういう対応をしているのか。

<教育審議官>

I C T機器の普及に伴い、学校においても情報モラル教育に力を入れている。県のスマートルール推進運動に基づき各学校でルールを作っている。随時見直しているが、家庭でも考えていただきながら保護者の観点で正しい使い方の指導を進めていきたい。生徒会でスマートルールを作っている学校もある。道徳の中でも題材に取り入れるようになっているので、そういう機会をとらえて繰り返し指導していきたい。これからタブレット端末を子ども達に配るので、より正しく使えるようにしていきたい。

<委員>

講師に指導してもらうことはないのか。

<教育審議官>

警察の防犯教室等も活用しながら進めていきたい。

<委員>

若者の引きこもりや発達障害の理解を深めることは極めて大事で、地域の者として理解

し成長過程をみて、助言や一緒に考えてほしいと思うが、公民館と協力して公民館の講座などで話題を提供していただきたい。

<生涯学習・スポーツ課長>

若者の引きこもりなどが増えてきていることは理解している。公民館の事業として、人口減少も踏まえた持続可能なまちづくりを考えていく中、各種団体の存続が危ぶまれている状況で、次の世代にどのようにバトンを渡していくかが難しい。どのような形で実施できるか公民館長会の中で話をしていきたい。

<委員>

施策13で幼児教育の環境整備に努めるとあるが、ハード面ではなくソフト面での環境整備に取り組んでいただきたい。令和2年度の取り組みの中で、教職員の交流事業を再開しているとあるが、幼稚園の先生方の交流なのか、保育所、幼稚園、こども園の先生方の交流なのか、こども園と幼稚園の交流なのかわからない。コンパクトな鯖江市の幼児教育なので、先生方が交流しながら一体となって幼児教育に取り組んでいくというスタンスが望ましい。先生方が保育所、幼稚園、こども園のこだわりなく連携して交流を行ってほしい。管理運営の観点からも来年度は進めていただきたい。

<保育・幼児教育室長>

施策13で掲げているのは小学校との接続という観点での交流で、幼稚園は幼稚園研究会、保育所は保育所研究会があり、研修の目的によっては相互の交流ができるような機会を少しずつではあるが進めているので、今後も資質向上に努めていきたい。

<委員>

令和2年度は園開故事業を実施していないとあるが、子どもを預ける園について保護者は非常に関心がある。園見学が出来ないことで入園申し込みが減ったようなことはなかったのか。

<保育・幼児教育室長>

園開放はしていないが園見学は1組ずつ時間を決めて見学している。その結果、園の雰囲気や状況がわからないといった声も届いていないので、特に影響はなかったと認識している。次年度以降もコロナ禍の状況によっては引き続き取り組んでいかなければならない。

<委員>

コロナ禍により事業が中止や減少するのは仕方がないが、逆に増えた事業はないのか。

<教育長>

事業が進んだということではGIGAスクール構想による児童生徒1人1台のタブレット端末があげられる。国の方針もあるが、当初3人に1台というのが、一気に1人1台という流れになった。

<委員>

これらも掲載したほうがよいのではないか。減少や廃止ばかりではなく、コロナ禍により、こういう事業を実施したというものがあるとよい。

<教育審議官>

増えたということではないが、オンラインでも可能であると気づかされたことは多かった。SDGsの講演会もオンラインで十分成果を上げることができた。今後に向け、このような形が増えていくきっかけになった。

〈教育長〉

コロナ禍で、マスクの着用や手洗いでインフルエンザの感染が少なくなった。例年この時期にはインフルエンザによる学級閉鎖があるが現時点で市内ではない。子ども達もしっかりマスクを着用し手洗い場に並んでいる。ルールを守るという意識は芽生えているのかなと思う。

- ② 「ふるさと鯖江の日」教育文化功労等表彰式について
- ③ 令和2年度卒業証書授与式について
- ④ 成人式について
- ⑤ 次回開催予定等について案内：1月12日（火）午後3時から開催
- ⑥ 1～2月の行事予定について

議事録署名人 柴田 直昌

議事録署名人 中村 知恵